

演劇と身体

—日本とヨーロッパの伝統芸能を例に—

2021年11月9日（火） 17:20～19:00

観世流能楽師 河村晴久氏をお招きして、日本の伝統舞台芸術とヨーロッパ劇の演劇性を、能楽、古代ギリシャ劇、コンメディア・デッラルテなどとの比較により多面的に考える講演会。

◆講師：河村 晴久（観世流能楽師）

同志社大学大学院文学研究科修了。父河村晴夫、および13世林喜右衛門に師事。今までに「猩々乱」「石橋」「道成寺」「安宅勧進帳」「屋島弓流」等を披く。日本能楽会会員。重要無形文化財「能楽」総合認定保持者。株式会社能楽舎代表取締役。同志社大学客員教授など歴任。平成17年度文化庁文化交流使（アメリカに一月半滞在しハーバード大学などで活動）演能のほか、大学での授業、講演、海外での講演活動も多い。平成6年のワシントンでの公演を始め、平成20年にはパリのユネスコ本部、平成30年にはウクライナなど、海外での英語による講演、公演は50回を超える。『対訳で楽しむ謡本』（檜書店刊）解説等執筆中。



◆司会・解説：村田真一（ヨーロッパ研究所所員、本学外国語学部教授）

- ◆対象：本学学生、教職員、一般
- ◆言語：日本語
- ◆開催方法：ZoomまたはYouTubeライブ配信を予定
※確定後、研究所ホームページでご案内いたします。
- ◆要事前申込み：下記のURLまたはQRコードよりお申し込みください。
定員あり／締切 11月7日（日）
<https://eipro.jp/sophia/events/view/EU20211109>



- * 定員に達した場合、締切日に先立ちお申し込みの受付を終了とさせていただきます。
- * ご参加に必要な情報は、お申し込み受付完了後、講演会前日（11月8日（月））にメールにてご案内申し上げます。



上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学中央図書館7階 721B

■ Tel: 03-3238-3902

■ e-mail: i-europe@sophia.ac.jp

Find us on FB!



Sophia Open Research
Weeks 2021

5th Nov.— 23rd Nov. Sophia University

